

2. 経費支出概要書（経費内訳）
 (1) 経営相談支援事業

忠岡町商工会
 (単位：円)

| 区 分 | 変更前 | | | 変更後 | | | 差額 | |
|-----------------|---------|------------|------------|---------|------------|------------|---------|---------|
| | 事業所数/回数 | 算定基準 | 補助金額 | 事業所数/回数 | 算定基準 | 補助金額 | 算定基準 | 補助金額 |
| 事業所カルテ・サービス提案 | 235 | 5,875,000 | | 235 | 5,875,000 | | 0 | |
| 支援機関等へのつなぎ | 10 | 100,000 | | 10 | 100,000 | | 0 | |
| 金融支援（紹介型） | 30 | 900,000 | | 40 | 1,200,000 | | 300,000 | |
| 金融支援（経営指導型） | 25 | 1,000,000 | | 25 | 1,000,000 | | 0 | |
| マル経融資等の返済条件緩和支援 | 1 | 20,000 | | 1 | 20,000 | | 0 | |
| 資金繰り計画作成支援 | 15 | 300,000 | | 15 | 300,000 | | 0 | |
| 記帳支援 | 30 | 750,000 | | 30 | 750,000 | | 0 | |
| 労務支援 | 60 | 1,200,000 | | 60 | 1,200,000 | | 0 | |
| 人材育成計画作成支援 | 5 | 100,000 | | 5 | 100,000 | | 0 | |
| マーケティング力向上支援 | 10 | 200,000 | | 10 | 200,000 | | 0 | |
| 販路開拓支援 | 40 | 800,000 | | 40 | 800,000 | | 0 | |
| 事業計画作成支援 | 20 | 1,000,000 | | 20 | 1,000,000 | | 0 | |
| 創業支援 | 15 | 300,000 | | 15 | 300,000 | | 0 | |
| 事業継続計画(BCP)作成支援 | 10 | 200,000 | | 10 | 200,000 | | 0 | |
| コスト削減計画作成支援 | 20 | 400,000 | | 20 | 400,000 | | 0 | |
| 財務分析支援 | 5 | 50,000 | | 5 | 50,000 | | 0 | |
| 5S支援 | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | |
| IT化支援 | 10 | 200,000 | | 10 | 200,000 | | 0 | |
| 債権保全計画作成支援 | 1 | 10,000 | | 1 | 10,000 | | 0 | |
| 事業承継支援 | 5 | 100,000 | | 5 | 100,000 | | 0 | |
| 災害時対応支援 | 20 | 100,000 | | 71 | 355,000 | | 255,000 | |
| フォローアップ支援 | 50 | 250,000 | | 50 | 250,000 | | 0 | |
| 結果報告 | 232 | 2,320,000 | | 232 | 2,320,000 | | 0 | |
| 小 計 | — | 16,175,000 | 16,175,000 | — | 16,730,000 | 16,729,236 | 555,000 | 554,236 |

(2) 専門相談支援事業

| 事業名 | 変更前 | | | 変更後 | | | 差額 | |
|---------|------|-----------|-----------|------|-----------|-----------|------|------|
| | 支援日数 | 算定基準 | 補助金額 | 支援日数 | 算定基準 | 補助金額 | 算定基準 | 補助金額 |
| 金融相談専門員 | 61 | 1,464,000 | | 61 | 1,464,000 | | 0 | |
| 法律相談 | 6 | 144,000 | | 6 | 144,000 | | 0 | |
| 税務相談 | 6 | 144,000 | | 6 | 144,000 | | 0 | |
| 経営相談 | 12 | 288,000 | | 12 | 288,000 | | 0 | |
| | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | |
| 小 計 | — | 2,040,000 | 2,040,000 | — | 2,040,000 | 2,040,000 | 0 | 0 |

※支援日数×24,000円。ただし、記帳支援のために税理士を活用する場合、事業所数×26,000円

(3) 地域活性化事業

| | 変更前 | | 変更後 | | 差額 | |
|-----|------------|-----------|-----------------|-----------|------|-----------|
| | 算定基準 | 補助金額 | 算定基準 | 補助金額 | 算定基準 | 補助金額 |
| 小 計 | 別紙事業調書のとおり | 6,456,716 | 別紙事業調書【変更後】のとおり | 5,902,480 | | ▲ 554,236 |

(4) 商工会等支援事業

| | 変更前 | | 変更後 | | 差額 | |
|-----|------------|---------|-----------------|---------|------|------|
| | 算定基準 | 補助金額 | 算定基準 | 補助金額 | 算定基準 | 補助金額 |
| 小 計 | 別紙事業調書のとおり | 211,800 | 別紙事業調書【変更後】のとおり | 211,800 | | 0 |

(5) 合計

| | 変更前 | | 変更後 | | 差額 | |
|------|-----|------------|-----|------------|----|------|
| | | 補助金額 | | 補助金額 | | 補助金額 |
| 申請合計 | | 24,883,516 | | 24,883,516 | | 0 |

| 事業名 | | ものづくり企業のイノベーション精神を刺激する事業 | 新規/継続 | 継続 |
|---|-----------------------------------|---|---------------------------------------|----|
| 想定する実施期間 | | H 30 年度～ R2 年度まで | ←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること | |
| 事業の概要 | 事業の目的 (現状や課題をどのよう な状態にしたいか) | 忠岡町の繊維産業をはじめとするものづくり企業は下請け企業が多く、その業績は大手企業の経営方針により左右される。特に海外の安価な製品等の輸入や製造現場の海外移転等が原因となって「年間を通じた安定した受注ができていない」、「受注額が減少している」等が共通の課題となっている。この現状を打破するために、経営者や部門責任者等の「イノベーション」精神を刺激し、問題解決していく経営力を養うことを目的として、付加価値の高い製品開発や技術力・新しいアイデアをいかした事業展開等に取り組む企業の現場で学び、参加企業間で情報交換の場を提供する。 | | |
| | 支援する対象 (業種・事業所数等) | ものづくり企業（繊維関係業種およびその他）200社、並びにものづくり企業への業種転換に興味のある企業。 | | |
| | 事業に対する 企業ニーズ (内容・把握方法等) | 巡回・窓口相談において、「現場で見て話を聞きたい」、「モチベーションのアップにつながっている」との意見を多く聞く。その他、「従業員からどうやって提案を引き出すかを知ることができた」、「人材の採用や育成計画について参考になった」、「継続的な実施を望む」などの意見もあり、町内ものづくり企業の刺激になるよう企画・実施したい。 | | |
| これまでの 取組状況 ※継続事業の 場合のみ記入 | 実施内 容・実績 数値 | <p>「成功企業に隠されたヒント」を学び、新たな経営改善やイノベーションの契機とすることを目的として、以下の通り視察研修会及び交流会を実施した。</p> <p>R元年度 はじまりの地で伝統と革新を学ぶ「視察研修会」 令和元年11月26日、20社21名 (株)タカトリ 奈良県橿原市 他 資本金9.6億円、東証2部上場、売上高73億円、従業員数約230人 1956年設立後、創造と開拓の精神の元、パンティストッキングの自動縫製機製作事業、半導体事業、医療分野事業と次々と新規分野に進出。今回、様々な産業を支える現場の見学などを通じて、「世の中に無いモノを創る」という革新への想いをお伺いし、意見交換した。</p> <p>H30年度 京都発祥のものづくり先端技術×伝統×デザインから学ぶ視察研修会 平成30年11月29日、20社21名 (株)堀場製作所 びわ湖工場 BIWAKO E-HABOR 他 資本金120.1億円、東証1部上場、売上高1953億円、従業員数約7,900人 京都生まれのグローバル企業で、分析計測器の総合メーカー。技術・生産の両面で将来の成長を支える「BIWAKO E-HABOR」で、生産協力工場と一体となった淀みない生産プロセスの模様や自動車試験設備を見学。企業文化、「人財（ホリバリアン）」の育成等について話を伺った。</p> | | |
| | 反省点 | 創業から現在に至るまで、新規分野への進出、事業転換、経営革新を繰り返し成長してきた企業の視察。劇的な変革と成功に驚かされたが、人材不足からくる人材採用や育成など当初企画したねらいとは違う内容で共感を得ていただくこととなった。また企画が確定後に、研修会当日に天皇皇后両陛下が橿原市に訪問されることが決まり、当日のスケジュールを少しずつ前倒しすることとなった。次回の研修の際にはイレギュラーを考慮して日時を設定する。 | | |
| 具体的 な実施 内容・ 手法 (該当型 に○) いつ・ どこ で・ 何を・ どのよ うに する | 人材育成 型 | 年度内のスケジュールについて 参加企業にとってインパクトがある企業を視察先として選定しているが、自社の経営に気づきを与えることができ、事業に応用できる内容にできるよう可能な限り、視察先と調整を図る。 | | |
| | ○ 人材交流 型 | ①テーマ、工場見学先の調整（5～7月） ②企画会議（7月） 忠岡町担当者も交え、テーマ、工場見学先を選定 ③事業の調整（8月～） 会議の内容をもとに調整 | | |
| | 販路開拓 型 | ④広報活動（9月～） 事業内容をチラシ、ホームページ等で周知 ⑤工場見学（11月） 近畿圏内の大手ものづくり企業の工場見学を実施 | | |
| | ハズカ型 | 視察研修会の内容について 参加企業の役員等のもちベーションの向上、経営改善やイノベーションのきっかけとすることを目的として実施する。 | | |
| | 独自提案 型 | ①事業内容や研究開発体制等の説明 ②製造工程の見学 ③参加者間の交流・意見交換など | | |

| 事業名 | | ものづくり企業のイノベーション精神を刺激する事業 | | | | 新規/継続 | 継続 |
|--|---------------------------------------|---|--|--------------|--------------|-----------|----|
| 事業の 目的を 明確に) | 事業手法 (該当する場合は ○印と下欄に その根拠) | (a)府施策連携 | (b)広域連携 | ○(c)市町村連携 | ○(d)相談事業相乗効果 | | |
| | | (c)忠岡町産業振興課担当者には企画、参加者募集、見学会の参加にも協力いただく。次年度以降の事業者に対する助成措置の検討を促す。 (d)開催後のアンケートにより企業の課題把握を行いカルテ化につなげる。 | | | | | |
| 事業の 目標 | 支援対象企業数 | 設定根拠及び 募集方法⇒ | 活発な意見交換を促すため20社に限定。 9月に広報活動を実施し、広報ただおか(町内全戸配布)、商工会報(新聞折込)、チラシ配布、ホームページで参加者を募集する。 | | | | |
| | 支援対象企業 の変化 | 20 社 | 大手企業の中・長期的な計画、研究開発やコスト意識を見聞きすること、参加者間で意見交換することで、自社の現状と対比し、今後取り組まなければならない課題を発見することができ、その解決のヒントを得ることができる。 特に人材不足を悩んでいる参加企業からは、人材採用、育成計画(地元重視の採用、離職率やこれを踏まえた中期的な人件費)の考え方などが腑に落ち、今後の配置等の参考したいとの声も聞いている。 | | | | |
| | その他目標値 | 指標 | 自社の課題解決のヒントを得ることができた企業数 | 数値目標 | 75% | | |
| 算定基準により算出される額 | 算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入) | ⇒ | サービス単価 | 支援企業数 | 係数 | 標準事業費 | |
| | | | 40,400 円 × | 20 × | 1.00 = | 808,000 円 | |
| | | | 円 × | × | = | 円 | |
| | | | 円 × | × | = | 円 | |
| | | | (小計) 808,000 円 | | | | |
| | ※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%) | | | | | 円 | |
| | 計 | | | | | 808,000 円 | |
| | 独自提案単価及び 独自補正係数の根拠 (基準とおりの場合不要) | | | | | | |
| 算出額 | ①市町村等補助 | 円 | 交付市町村等 | | | | |
| | ②受益者負担 | 円 | 負担金の積算 | | | | |
| | (a)府施策連携 | (b)広域連携 | ○(c)市町村連携 | ○(d)相談事業相乗効果 | | | |
| | 標準事業費 | 補助率 | (①市町村等+②受益者負担) | | | | |
| | 808,000 円 × 0.50 = | 404,000 円 | (| 円) | | | |
| 補助金の団体配分 (「代」欄には、中核 団体またはヒアリングで説明 する代表団体に○) | 代 | 商工会・会議所名 | 配分額 | 役割(配分の考え方) | | | |
| | | | 円 | | | | |
| | | | 円 | | | | |
| | | | 円 | | | | |
| | | | 円 | | | | |

【備考】

| | | | | |
|---|-----------------------------------|---|--|--------------------------------------|
| 事業名 | | ものづくり企業のイノベーション精神を刺激する事業 | 新規/継続 | 継続 |
| 想定する実施期間 | | H 30 年度～ R2 年度まで | ←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること | |
| 事業の概要 | 事業の目的 (現状や課題をどのよう な状態にしたいか) | 忠岡町の繊維産業をはじめとするものづくり企業は下請け企業が多く、その業績は大手企業の経営方針により左右される。特に海外の安価な製品等の輸入や製造現場の海外移転等が原因となって「年間を通じた安定した受注ができていない」、「受注額が減少している」等が共通の課題となっている。この現状を打破するために、経営者や部門責任者等の「イノベーション」精神を刺激し、問題解決していく経営力を養うことを目的として、付加価値の高い製品開発や技術力・新しいアイデアをいかした事業展開等に取組む企業の現場で学び、参加企業間で情報交換の場を提供する。 | | |
| | 支援する対象 (業種・事業所数等) | ものづくり企業（繊維関係業種およびその他）200社、並びにもものづくり企業への業種転換に興味のある企業。 | | |
| | 事業に対する 企業ニーズ (内容・把握方法等) | 巡回・窓口相談において、「現場で見て話を聞きたい」、「モチベーションのアップにつながっている」との意見を多く聞く。その他、「従業員からどうやって提案を引き出すかを知ることができた」、「人材の採用や育成計画について参考になった」、「継続的な実施を望む」などの意見もあり、町内ものづくり企業の刺激になるよう企画・実施したい。 | | |
| これまでの 取組状況 ※継続事業の 場合のみ記入 | 実施内容・実績 数値 | <p>「成功企業に隠されたヒント」を学び、新たな経営改善やイノベーションの契機とすることを目的として、以下の通り視察研修会及び交流会を実施した。</p> <p>R元年度 はじまりの地で伝統と革新を学ぶ「視察研修会」 令和元年11月26日、20社21名 (株)タカトリ 奈良県橿原市 他 資本金9.6億円、東証2部上場、売上高73億円、従業員数約230人 1956年設立後、創造と開拓の精神の元、パンティストッキングの自動縫製機製作事業、半導体事業、医療分野事業と次々と新規分野に進出。今回、様々な産業を支える現場の見学などを通じて、「世の中に無いモノを創る」という革新への想いをお伺いし、意見交換した。</p> <p>H30年度 京都発祥のものづくり先端技術×伝統×デザインから学ぶ視察研修会 平成30年11月29日、20社21名 (株)堀場製作所 びわ湖工場 BIWAKO E-HABOR 他 資本金120.1億円、東証1部上場、売上高1953億円、従業員数約7,900人 京都生まれのグローバル企業で、分析計測器の総合メーカー。技術・生産の両面で将来の成長を支える「BIWAKO E-HABOR」で、生産協力工場と一体となった淀みない生産プロセスの様式や自動車試験設備を見学。企業文化、「人財（ホリバリアン）」の育成等について話を伺った。</p> | | |
| | 反省点 | 創業から現在に至るまで、新規分野への進出、事業転換、経営革新を繰り返し成長してきた企業の視察。劇的な変革と成功に驚かされたが、人材不足からくる人材採用や育成など当初企画したねらいとは違う内容で共感を得ていただくこととなった。また企画が確定後に、研修会当日に天皇皇后両陛下が橿原市に訪問されることが決まり、当日のスケジュールを少しずつ前倒しすることとなった。次回の研修の際にはイレギュラーを考慮して日時を設定する。 | | |
| 具体的な実施 内容・手法 (該当型に○) いつ・どこ で・何を どのよう にするのかを 明確に) | 人材育成 型 | <p>※本事業の趣旨にあう事業所であって、多人数の参加者の視察を受け入れることができる事業所の選定がコロナ禍により困難となったため中止とする。</p> <p>年度内のスケジュールについて 参加企業にとってインパクトがある企業を視察先として選定しているが、自社の経営に気づきを与えることができ、事業に応用できる内容にできるような可能な限り、視察先と調整を図る。</p> | | |
| | ○ 人材交流 型 | ①テーマ、工場見学先の調整（5～7月） ②企画会議（7月） 忠岡町担当者も交え、テーマ、工場見学先を選定 ③事業の調整（8月～） 会議の内容をもとに調整 | | |
| | 販路開拓 型 | ④広報活動（9月～） 事業内容をチラシ、ホームページ等で周知 ⑤工場見学（11月） 近畿圏内の大手ものづくり企業の工場見学を実施 | | |
| | ハズ 杓型 | <p>視察研修会の内容について 参加企業の役職員等のモチベーションの向上、経営改善やイノベーションのきっかけとすることを目的として実施する。</p> | | |
| | 独自提案 型 | ①事業内容や研究開発体制等の説明 ②製造工程の見学 ③参加者間の交流・意見交換など | | |
| 事業手法 (該当する場合は ○印と下欄に その根拠) | <input type="checkbox"/> (a)府施策連携 | <input type="checkbox"/> (b)広域連携 | <input checked="" type="checkbox"/> (c)市町村連携 | <input type="checkbox"/> (d)相談事業相乗効果 |
| (c)忠岡町産業振興課担当者には企画、参加者募集、見学会の参加にも協力いただく。次年度以降の事業者に対する助成措置の検討を促す。 (d)開催後のアンケートにより企業の課題把握を行いカルテ化につなげる。 | | | | |

| | | | | | | | |
|--|-----------------------------------|--|---|----------------|--------|----------|---|
| 事業名 | | ものづくり企業のイノベーション精神を刺激する事業 | | 新規/継続 | 継続 | | |
| 事業の目標 | 支援対象企業数 | 設定根拠及び募集方法⇒ 20 社 | 活発な意見交換を促すため20社に限定。 9月に広報活動を実施し、広報ただおか（町内全戸配布）、商工会報（新聞折込）、チラシ配布、ホームページで参加者を募集する。 | | | | |
| | 支援対象企業の変化 | 大手企業の中・長期的な計画、研究開発やコスト意識を見聞きすること、参加者間で意見交換することで、自社の現状と対比し、今後取り組まなければならない課題を発見することができ、その解決のヒントを得ることができる。 特に人材不足を悩んでいる参加企業からは、人材採用、育成計画（地元重視の採用、離職率やこれを踏まえた中期的な人件費）の考え方などが腑に落ち、今後の配置等の参考したいとの声も聞いている。 | | | | | |
| | その他目標値 | 指標 | 自社の課題解決のヒントを得ることができた企業数 | 数値目標 | 75% | | |
| 算定基準により算出される額 | 算定基準 （行が足りない場合は、⇒の行に挿入） | ⇒ | サービス単価 | 支援企業数 | 係数 | 標準事業費 | |
| | | | 40,400 円 × | 0 社 × | 1.00 = | 0 円 | |
| | | | 円 × | × | = | 0 円 | |
| | | | 円 × | × | = | 0 円 | |
| | | | （小計） | | | 0 円 | |
| | | | ※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算（小計の5%） | | | 0 円 | |
| | | 計 | | | 0 円 | | |
| | 独自提案単価及び独自補正係数の根拠 （基準どおりの場合不要） | | | | | | |
| 算出額 | ①市町村等補助 | 0 円 | 交付市町村等 | 0 | | | |
| | ②受益者負担 | 0 円 | 負担金の積算 | | | | |
| | 0 | (a)府施策連携 | 0 | (b)広域連携 | 0 | (c)市町村連携 | 0 |
| | | (d)相談事業相乗効果 | | | | | |
| | | 標準事業費 | 補助率 | （①市町村等+②受益者負担） | | | |
| | 0 円 × 0.50 = | 0 円 | （ 0 円） | | | | |
| 補助金の団体配分 （「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○） | 代 | 商工会・会議所名 | 配分額 | 役割（配分の考え方） | | | |
| | | | 円 | | | | |
| | | | 円 | | | | |
| | | | 円 | | | | |
| | | | 円 | | | | |

【備考】

小規模事業経営支援事業 地域活性化事業 変更理由書

忠岡町商工会

事業名

ものづくり企業のイノベーション精神を刺激する事業

計画に対する
実績（数値）

支援企業
数(計画)

20

支援企業
数(実績)

0

支援
実績率

0.0%

【参考】
参加者数

0

理 由

【変更の経過と理由】

新型コロナウイルス感染症の拡大状況及び防止策を講じながら本事業の開催について検討してきた。しかしながら、本事業の趣旨にあう事業所であって、多人数の参加者の視察を受け入れることができる事業所の選定がコロナ禍により困難となったため中止とした。

【支援効果】

未実施のため支援効果なし。

【今後の改善方策】

新型コロナウイルスなど外部環境に影響されにくい事業を検討する。またコロナ禍で浮き彫りになった課題や生活様式の変化に対応できるよう支援を実施する。

【経費内訳】

未実施のため経費支出なし。